

すわ 市議会だより

発行/諏訪市議会 編集/議会だより編集委員会 〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 TEL0266-52-4141
諏訪市ホームページ <http://www.city.suwa.lg.jp>



城山福寿草園

3月定例会市議会……………1P	予算審査特別委員会報告……………2P
常任委員会報告……………3,4Pから	代表質問(2議員)……………5Pから
一般質問(10議員)……………6Pから	議案、陳情審議結果……………11P
市議会解説コーナー、編集後記……………12P	

3月定例会市議会

平成24年第1回(3月)定例会が、2月20日から3月14日までの会期で行われました。

今定例会には、議案25件、同意1件、選挙1件が提出され、すべて可決、同意、選挙されました。

<3月定例会日程>

2月	20日	本会議(議案上程・説明、陳情付託)
	23日	本会議(議案質疑・付託)
	28日	本会議(代表質問、一般質問)
	29日	本会議(一般質問)
3月	2・5日	常任委員会
	7・8・9・12日	予算審査特別委員会
	14日	本会議(委員長報告・質疑・討論・採決、選挙)

予算審査特別委員会報告

平成24年度予算 賛成多数可決 委員長 金子 喜彦

予算審査特別委員会人事

平成24年度の予算審査特別委員会の人事が決まり、議長を除く全議員により予算審査が行われました。

委員長 金子 喜彦 副委員長 増澤 義治

3月定例会において付託されました、「平成24年度諏訪市一般会計予算」および特別会計予算、企業会計予算8件について、審査の結果を報告いたします。

昨年の3月11日に発生した東日本大震災・長野北部地震、毎年来るゲリラ豪雨など日本各地が多くの自然災害に見舞われ、また津波による原発事故とその安全性の見直し基準も明確に公表されていない不安の中で、世界の経済情勢の急速な変化による円の不安定、欧州の債務危機による経済の減速等、日本の景気は今もって厳しい状況にあります。市民に対し安全で安心なまちづくりに努めて、4期目に選出された市長の公約の実現に向けての温泉リハビリセンター、産業連携推進室の活動、ごみ処理施設の建設、都市計画道路の見直し等の始動と本年から始まる豊田小学校の整備、新豊田保育園の建設を含め、第五次総合計画の7つの基本目標やそれを進めていくうえでの、4つの基本政策の中で、活力溢れる諏訪市の一般会計予算195億5千万円で、骨格型としたH23年度に比べ5.8%増の、また過去5年の予算額比においても、微増ではあるが最高額となる積極型予算が編成されましたので、当委員会は、そうした意向が考慮された、適正な予算案であるかなどを審査しました。

各予算については、多面的に検討審査した結果、細部についての若干の見解の違いや、異なる評価はありましたが、活発な質疑応答や討論の結果、平成24年度一般会計、各特別会計並びに企業会計予算は、すべて可決と決定いたしました。

「平成24年度諏訪市一般会計予算」について、全委員の意見を求め、大型事業や臨債により市債は増加となり、市債に頼る財政運営は今後の方向が危惧され、すわっこランドの指定管理、豊田保育園の規模など一部評価できない面があり反対、総体的には主要事業142項目の内、新規事業として32項目、拡充事業として33項目が盛り込まれており、いずれも市民の声が反映されているものと認め賛成、との討論があり、反対3名、賛成10名で賛成多数可決。

特別会計の「国民健康保険」、「後期高齢者医療」の各予算は、反対3名、賛成10名で賛成多数可決。「霧ヶ峰リフト事業」、「奨学資金」、「公設地方卸売市場事業」、「駐車場事業」並びに公営企業会計の「水道温泉事業」、「下水道事業」の各会計予算については、全会一致可決。

次に主な質疑の概要を報告いたします。

旧東バル跡地の今後の対応、かりんちゃんバス路線の見直し、災害に関する危機管理体制、地方交付税及び臨時財政対策債の今後の動向、アートなまちづくり事業とアドバイザーのかかわり、縁結びサポート。

海外姉妹都市交流に関して、水道局移転事業の概要、滞納整理機構の内容。

精進湯、源泉のあり方、災害時の復旧対策。

体育館の耐震診断、文化センター駐車場の整備、豊田小学校等の整備、要保護準要保護児童の動向。

国道20号バイパス建設促進、神戸田辺線を含む都市計画道路、自転車駐輪管理、木造住宅耐震補強。

すわっこランドの修繕負担及び指定管理者、高齢者タクシーの状況、未満児増加に伴う保育園の対応、住宅リフォーム助成事業、屯所建て替え負担金等260件におよぶ意見が出されました。

委員14名全員による密度の濃い審査だったと思います。いずれにしても、市の財政運営は厳しく、討論や質疑を通じて出された要望や意見など、十分配慮され、実りある予算執行を望みたいと思います。以上で委員長報告とします。



平成24年度予算総額				
会計名	H24年度予算額 単位：千円	H23年度予算額 単位：千円	増減率 (%)	
一般会計(歳入歳出)	19,550,000	18,480,000	5.8	
特別会計	国民健康保険	5,172,669	4,823,488	7.2
	霧ヶ峰リフト事業	58,519	58,459	0.1
	奨学資金	3,420	3,480	△1.7
	公設卸売市場	69,802	78,556	△11.1
	駐車場事業	107,666	109,706	△1.9
後期高齢者医療	520,960	501,506	3.9	
公営企業会計	水道温泉	2,180,843	2,167,326	0.6
	下水道	3,337,707	3,303,758	1

議案審査 総務産業委員会

第1回(3月)定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

**補正予算一般会計1件・特別会計1件 可決。 条例新設1件・一部改正5件 可決。
諏訪広域連合規約の一部変更 可決。 市道路線廃止・認定各1件 可決。
陳情3件 採択。**

◎平成23年度諏訪市一般会計補正予算(第6号)について
歳出では総務費で旧東洋バルヴ諏訪工場跡地取得基金積立金8,500万円減額、退職手当の増加分2,100万円・廃止路線代替バス運行費補助金511万5千円の計上。土木費で県事業土木工事負担金の不足額80万円増額。消防費で災害危険住宅移転事業費522万円減額。旧東洋バルヴ諏訪工場跡地取得基金積立金の寄付金の見積もり根拠等の質疑があり、全会一致可決。

◎平成23年度諏訪市下水道事業会計補正予算(第1号)について

流域下水道建設負担金増額により、246万円増額、累計額15億550万8千円。県の負担金が増額となった理由等の質疑があり、全会一致可決。

◎公有地の拡大の推進に関する法律施行令第3条第3項ただし書の規定による規模を定める条例を定めるについて

土地の有償譲渡の届出事務権限が知事から市長へ委譲され、届出除外面積規模を県と同様100㎡とするもの。全会一致可決。

◎諏訪市組織条例の一部改正について

すわっこランドの指定管理者制度導入で、所掌事務を市民部から健康福祉部に移行するもの。市が指定管理者の管理監督指導を徹底するように等の意見・要望があり、全会一致可決。

◎諏訪市税条例の一部改正について

地方税法の一部改正等による個人住民税の均等割額加算等の条例改正。税金は負担できる人がより多く払うべきで一律の値上げ反対、10年間の時限立法で復興財源となるので賛成等の討論があり、賛成多数可決。

◎諏訪市公設地方卸売市場条例の一部改正について

水産棟の肉加工施設の使用料を月額374円/㎡徴収するための改正。全会一致可決。

◎諏訪市景観条例の一部改正について

第2次一括法による項ずれの改正。全会一致可決。

◎諏訪市営住宅管理条例の一部改正について

同居親族要件改正と単身入居基準の明記、暴力団排除要件・地方税滞納要件の追加。入居者の審査・福祉との連携等の質疑があり、全会一致可決。

◎諏訪広域連合規約の一部変更について

国のふるさと市町村圏推進要綱の廃止で、ふるさと市町村圏計画事業を諏訪広域連合広域計画で継続していくための規約変更。全会一致可決。

◎市道路線の廃止及び認定について

豊田小学校改築関連で、4路線の廃止・3路線の認定。

学校隣接地にふさわしい安全対策等の質疑があり、それぞれ全会一致可決。

◎最低賃金の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充を求める陳情

最低賃金の改善だけでなく中小企業の支援や雇用の確保等も必要・陳情の趣旨は理解できる・少しでも最低賃金を上げる意図を汲むべき、等の意見があり、全会一致採択。

◎TPPへの参加反対の意見書提出を求める陳情

すでに協議参加しており主張すべきことはしながら国際競争すればよいので趣旨採択・一次産業の置かれている状況や食の安全等、現状では対応できないので採択、等の討論があり、賛成多数採択。

◎国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求める陳情

願意は理解できるが長期的な社会保障や財政展望から増税は避けられないため不採択・中小企業はこれ以上対応できない、将来に負担を先送りになるため採択・税金は払うべきものだが震災後の状況からも採択、等の討論があり、賛成多数採択。

議員提出議案(意見書関係)

国に対し3つの意見書を提出しました。

◎最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める意見書 ……全会一致可決

最低賃金千円への到達を目指す法の抜本改正。中小企業への経営支援策の更なる拡充のための法改正と公契約法の制定。雇用の創出と安定に資する政策の実施を求める意見書。

◎TPP参加に向けた協議の中止を求める意見書

……賛成多数可決

国益に多大な影響をもたらすTPPについて情報開示や国民的コンセンサスを心得て参加について慎重な対応を求めるため、現時点での参加協議を中止することを求める意見書。

◎消費税増税を行わないことを求める意見書

……賛成多数可決

増税によって国内景気が悪化し税収全般がかえって低下することが懸念されており、「所得の再配分」機能を回復させ、財政支出のあり方を根本的に見直すことを求める意見書。

議案審査 社会文教委員会

第1回（3月）定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

公民館条例の一部改正はじめ4件および特別会計補正予算を全会一致可決、 一般会計補正予算を賛成多数可決、陳情2件のうち1件を趣旨採択、1件を不採択。

◎平成23年度諏訪市一般会計補正予算（第6号）

補正の内容は市民課関係の、民生費の医療費給付事業費の市単乳幼児等福祉医療給付費が想定以上に医療費が伸びたため、市単食事給付費とともに473万3千円を増額補正するものです。

生活環境課関連では、衛生費の湖周行政事務組合負担金のうち「湖周行政組合建設費負担金」の諏訪市負担分154万4千円を補正するものです。

教育総務課関連では、教育費で豊田小学校の校舎改築、またその後の上諏訪中学校の屋内運動場改築を予定しているために「学校施設整備基金積立金」として、5,000万円を補正するものです。

高齢者福祉課関連では、繰越明許費の補正です。

補正の内容は、県の補助で豊田文出に建設される小規模多機能型介護所「とよだの杜」の「介護基盤緊急整備特別対策事業補助金」3,000万円が工期の関係により年度内完工が無理となったため、今回繰越明許するものです。

討論では、湖周行政事務組合負担金に反対もありましたが、賛成多数可決。

◎平成23年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

補正の内容は、歳入歳出それぞれに4,555万1千円を追加し、歳入歳出予算のそれぞれを50億6,024万5千円にするものです。採決の結果、全会一致可決。

◎諏訪市公民館条例の一部改正について

改正の内容は、社会教育法の改正に伴う条例の一部改正を行うもので、公民館運営審議会の委員の委嘱基準を条例に加えるものです。採決の結果、全会一致可決。

◎諏訪市図書館条例の一部改正について

改正の内容は、図書館法の改正に伴い、条例の一部改正を行うもので、図書館協議会の委員の任命基準を条例に加えるものです。採決の結果、全会一致可決。

◎諏訪市保育所条例の一部改正について

改正の内容は、こなみ保育園が仮設園舎から新設園舎に移転し、豊田保育園が仮設園舎に移転するために、保育所条例の位置を定めた規定に改正するものです。採決の結果、全会一致可決。

◎諏訪市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部改正について

改正の内容は、墓地、埋葬等に関する法律が改正され、許可等の権限が県知事から市長に委譲されたことに伴うもので、市条例中に規定されている県条例に係る引用部分を削除するものです。採決の結果、全会一致可決。

◎私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書

中信地区私学助成推進協会からの陳情。中信地区の私立高校に通う保護者負担を軽減するため、保護者への直接補助である通学費を補助して貰いたいというもので、国、県へ意見書の提出を求めるもの。

諏訪市には、県域を越えて通学している学生もいる等の討論もあり、採決の結果、趣旨採択。

◎年金2.5%削減中止の意見書採択を求める陳情書

全日本年金者組合諏訪支部からの陳情。陳情の趣旨は、年金支給水準に2.5%高く支給されている特例水準を削減することの中止を求めるもので、現在の年金生活者の生活状況は2000年から2002年当時と比べて著しく悪化しているので、国に対して意見書の提出を求めるもの。採決の結果、不採択。



外構工事の進む「こなみ保育園」

代表質問

代表質問は、各グループの政策上の問題などについて質問するものです。

掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、代表者の文責によるものです。



山田市長4期目の公約。 第五次総合計画の基本 目標と7項目の施策実 現に向けた基本政策。

新風会 水野 政利

問 市長4期目の公約の、東バル跡地への温泉リハビリテーションセンター誘致の計画はどうなっているか。跡地買い取りの資金計画の見直しは。

答 跡地は市が土地開発公社を通じて20億8千万円で購入。一般寄付1億9千万円を受けて約5千㎡を買い戻した。跡地取得基金は、大口の「その他寄付」分の5億円は見込めず、リハビリセンターが具体化するタイミングで資金計画を見直したい。同センターについては誘致相手や諏訪医療圏の中で、どの部分を担うのかなど問題を一つずつ解決していく。建設地は東バル跡地の南側一角を想定している。

問 まるみつの後利用、駅前活性化計画に向けたマスタープランの検討を。

答 新マスタープランは、まるみつの後利用がキーポイント。それが決まってから。

問 市長は今時点では、まるみつの民間による購入決定を注視しているとか。市の期限的な目安と市が購入の可能性は。

答 まるみつは民間同士の売買交渉がかなりのところまで進んでいると聞く。先方から何らかの話があるのを待つ。市が最終的に取得に乗り出す場合は、さら地を前提に価格的条件もあることを伝えてある。

問 市が昨年10月に設置した「産業連携推進室」の活動状況は。

答 本年度はまず、産業連携の様々な可能性を探り、アンテナを高くして情報収集しながら、地域の様々な分野の皆さんと信頼関係を築くことが重要。1月18日に「SUWAブランドをカタチにしようプロジェクト～企画案発表&仲間づくりの会」を開催し、約80名が熱気の参加をして産業連携の第一歩を踏み出した。

問 魅力ある都市の証は人口増といえる。諏訪市の人口増加のために市に「人口増加推進室」の設置を提案しますが。

答 組織設置は考えていないが、対策としては、社会増がキーであり、総合計画で掲げた各種施策を着実に

実行して、魅力ある都市づくりをめざす。

問 諏訪市が誇れる取り組みの施設である、清水学園の改築は。

答 築後35年を経て古く、地盤も悪く、発達支援センターとして新しい運営をするには困難と思う。現在、民設を念頭に法人に投げかけをしており、法人の意思表示を待って、国の補助金の情報を見ながら改築を検討したい。

問 諏訪市の資源や特性を活かした施策で、持続可能な低炭素社会の実現を。

答 住宅用太陽光発電システム設置に補助を行い、その普及に努めてきた。さらに、事業者や公共施設にも導入し、またメガソーラーの設置も検討する。温泉や天然ガス等の豊かな資源を当市に適した有効な利用方法を調査研究する。

問 時代の環境変化や市民のニーズに対応した、市営住宅のあり方の検討は。

答 市営住宅の役割は、住宅セーフティネットとしての低所得層への支援であり、財政事情等を考慮しながら、時代環境の変化や市民ニーズに応える。

問 民間住宅の借り上げ等の活用や家賃補助の考えは。

答 新規の市営住宅建設が困難な状況からは、それらは有効な施策と思うが、研究課題としたい。住宅に困窮する方が多様化する中で、受け皿として弾力的な対応が必要となっている。

問 6月議会で導入を検討とした、被災者支援システム導入の対応は。

答 H24年度導入に向け、今議会の予算案に計上済。2月に西宮市情報センターでシステム研修を受けてきた。情報推進係と連携しながら、効率的なシステム構築をめざす。



期待される駅前再開発



「社会保障、税一体改革」が市政、市民、地域経済に及ぼす影響について

日本共産党諏訪市議員団 井上 登

問 民主党政権が掲げる社会保障、税の一体改革について市長の見解は。

答 国が行うことであるが、債務残高974兆円について考えなければいけないが、税の値上げ時期は慎重さが必要。

問 国保の運営を県単位に広域化する国保法改定案が閣議決定されたが、市の責任と値上げの方向性は。

答 問題があれば県と協議する。国保税については国の動向の中で制度設計していきたい。

問 全国で7割以上の自治体が行っている一般会計からの繰入れは。

答 軽減策は細かくやっている。健全運営の立場から繰入れは控えている。

問 児童福祉法では公的責任で保育を必要とする子どもに保育の実施を市町村に義務付けているが、新システムでは保育必要時間を認定し、保護者はその認定書を持って直接保育園と契約となっているが。

答 将来的には検討時期が来るかもしれないが、今その方向を持っているわけではない。責任を持って今の保育環境を維持していきたい。

問 諏訪市では福祉医療費給付年齢が中学3年生まで拡大されたが、各自治体で独自の制度のため格差があり窓口無料化も困難にしていると思うが。

答 最終的には国・県の責任で行うのが望ましいと考えている。

問 消費税率10%になった場合の市財政収支は。

答 消費税交付税は13億円と見込まれるが、歳入全体としては同程度と見ている。歳出は一般会計で計算可能なもので3億6千万円程度。

問 今後は消費税の出入について数字をきちんと出す必要があると思うが。

答 今後示していきます。

問 消費税が納められず倒産という例もある。対策室を要望します。

問 10月26日から東バル跡地などで開かれる技能五輪について、概要と観光誘致は。

答 諏訪会場を訪れる選手と競技委員延べ3,804人、応援・見学を入れると4万人を見込む。ツアー企画、モデル商品化などに支援があると考えている。

問 技能の伝承、レベルアップ、新しい産業の創出、連携の構築や観光面での広がりが期待されます。単なるイベントで終わらせずにしっかりと次に繋げるものにしてほしいと思います。



技能五輪へ向けて

市政のここが聞きたい 一般質問

市政全般について議員が自由に質問できる一般質問の制度があります。3月定例会では10人の議員が各方面にわたって質問を行いました。掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。なお本会議の会議録は図書館、市役所ロビー、市議会事務局で閲覧できます。一般質問などの詳しい内容については会議録をご覧ください。



- ・災害時の要援護対策は人と心と地域の絆から！
- ・地域産業の振興に向け産業連携事業に期待！

山田 一治

問 震災・災害時の高齢者、障害者等に関わる支援対策について。

答 災害時要援護者避難支援計画による要援護者の把握をし、地区との情報共有により確認作業を実施。リストマップシステムを導入。

問 ハザードマップの見直しは。

答 現マップの見直しはせず「液状化注意マップ」の作成を検討。

問 地域防災マニュアルの作成状況は。

答 80地区で地震防災活動マニュアルを作成。防災活動マニュアルは、19地区で作成済。全地区での作成指導を要望。

問 各体育施設の管理運営と防災マニュアルによる避難指示について。

答 各施設にマニュアルは手配済。災害時における避難指示は明記し、職員無人施設利用者には申請時に注意を喚起している。避難指示の伝達方法については今後

検討する。

問 産業連携推進室事業の取り組みと方針。産業連携補助金の内容は。

答 農林業、商工業、観光等各種事業や大学研究機関、国・県・他の自治体や大手企業と連携し、地域の活性化や課題解決、諏訪ブランドの創出に繋がるようなテーマを見出すこと。補助金の対象は、(1) 産業連携分野による地域の課題解決。(2) 新技術・新製品開発。(3) 新サービスの提供等とし、補助対象経費の3分の2以内で限度額は100万円。2年間に亘る事業も可能である。



スワクルプロジェクト事業



上諏訪駅周辺の整備について・路線バスの見直しについて・湖周ごみ処理施設について

伊藤 浩平

問 まるみつの土地建物の売却交渉が不調に終わった場合、市の乗り出すタイミングは。

答 民間交渉が進行中なので推移を見守る。まとまる様に望む。

問 駅西口の整備計画は。

答 意見集約に至らず、時間も要することから来年度予算案への計上は見送ったが、複数案を次回の検討委員会へ概算費用を含めて提示したい。意見集約できれば事業を進めていきたい。

問 駅周辺の将来構想はまずは全体の構想があった上で、駅周辺の再開発を行うべきと思うが、現在の状況は

逆ではないか。

答 その場所の住民、商業者の考えがまずあってから。地域住民の主体性が重要である。市はその上でソフト的な支援をしたい。

問 路線バスの見直しについて現状と今後は。

答 地域交通協議会で話し合い、大和・四賀路線については10月をめどに運行したい。その他の市内路線の見直しは、H25年度中をめどに検討していきたい。

問 湖周ごみ処理共同化事業で市内に建設する予定の最終処分場の場所等の決定は。時期・場所等は地元理解も含めて早期の情報提供が必要だが。

答 まだ発表の時期ではない。地元理解も必要なので、慎重に調整していく。



上諏訪駅周辺



都市計画道路を含む諏訪市の道路網の見直し及び取り組みについて。

金子 喜彦

問 都市計画道路を見直して、5万人市民の利便性や30%を超える老人達が行動し易く、市民が安心して将来に期待できる道路行政の市長の所見を。

答 サンロード、次は神戸田辺線、道路整備は多額費用で1本ずつ。

問 都市計画道路を活かす、外すの早期見直し結論を出すべき。

答 長期未着手路線が多い。市の環境変化に合わせ道路整備プログラムを見直し、費用便益比により廃止も含めての方向性を検討していく。

問 商工業や観光等の諏訪をつなぐ道路網は。

答 高島城、諏訪湖、上社など著名地点を結ぶ回遊、観

光道路は必要。企画、財政的に検討していく。

問 再生可能なエネルギー導入の取り組みについて。

答 家庭の省エネ見える化事業をしている。諏訪市としても太陽光パネルの設置を県と連携して事業実施をする。木質バイオマスは調査研究する。

問 鳥獣被害防止対策は。

答 国庫鳥獣被害防止総合事業の防護柵、ネットの設置。職員出前講座「よりあい塾」に鳥獣対策メニューを追加する。日本シカ770頭捕獲目標に猟期外も捕獲許可を出し通年駆除に努め、上伊那地方とも効率的に広域捕獲を実施する。3～6月まで県下一斉雌シカ捕獲強化期間に指定し捕獲を進める。市職員に「鳥獣被害対策実施隊」の隊員指名をする予定となっている。



飯島橋（神戸田辺線）



- ・新川改修はどう進むか
- ・都市計画道路の見直しと主要交差点の改良を
- ・公営住宅の充実整備を

藤森 守

- 問** 新川改修は平成16年から5回質問をして促進を図ってきた。進捗状況はどうか。
- 答** 砥沢川から権現沢までの上流・下流に分けての工事。下流の土地買収にかかっており、順次工事が進む。上流工事に伴い家屋移転が必要となるが。
- 問** 県の対応だが市も協力する。
- 答** 県の対応だが市も協力する。
- 問** サイフォン強化等地元要望はどうするか。
- 答** 県と協力して実現に努める。
- 問** 都市計画道路の見直しはどう進めるか。
- 答** 3～5年のスパンを考えている。
- 問** 「路線が多いから切り捨て」ではなく、充分検討してほしい。
- 答** 市民意見を聞いて進めます。

- 問** 見直しを待たずに主要交差点の改良をしてほしい。大熊の中央道下、高島4丁目、赤沼、飯島の各交差点はどうか。
- 答** 大熊中央道下と高島4丁目は具体化をめざしたい。
- 問** 高島4丁目は県の街路事業が行われる。今がチャンス。
- 答** 関係者と接触を始めた。
- 問** 公営住宅の充実を図ってほしい。実際に入居できる住宅は少ない。
- 答** 公営住宅ストック計画があり、住宅数は足りている。
- 問** 福祉的に使える運用をしてほしい。
- 答** 弾力的に運用します。
- 問** 新川改修で新川団地は全部、水戸代団地の一部がなくなる。対応は。
- 答** 水戸代団地の整備で対応する。
- 問** 新川、水戸代両団地住民への周知、説明を早くしてほしい。
- 答** 早い段階から周知、説明をしていきます。



改良が急がれる高島4丁目交差点



温泉リハビリテーションセンターの誘致計画と内容について

奥野 清

- 問** 市長が、温泉リハビリテーションセンター誘致を掲げた最たる理由、目的は。
- 答** 地域福祉計画、高齢者福祉計画の一環、市民の多くの要望、諏訪赤十字病院開設後、利用者数は増大したが、急性期病院という性格上入院日数が平均13日と短く、転院先の施設が望まれる病院側の要望と、退院後に市内でリハビリが出来る便宜性を求める患者側の要望に応じて。
- 問** リハビリセンター誘致に対する諏訪市のスタンスと関わりは。
- 答** 民間医療機関に建設を働きかける。誘致場所は旧東

- バル跡地の現建屋南側を予定。規模については医療機関とのすり合わせと、H25年度からの長野県第6次保険医療計画の中で諏訪湖圏域基準病床数の提示を見て決める。医療機関が継続的に運営できる施設を考える。
- 問** 諏訪市が目指しているリハビリセンターの内容は。
- 答** 市民の病後の機能回復ということだが、様々な病後の障害に対する一日も早い機能回復を目指し、一般日常生活に復帰するための支援が目的。
- 問** H24年度リハビリセンター誘致への取り組み、市民周知は。
- 答** 新事業として市民の健康推進、地域医療機関の役割等を軸とした地域医療セミナーを数回開催予定。この中で、温泉リハビリセンターの目的を明確にしていこう。



リハビリセンター誘致予定地



- ・市街地活性化のための補助事業について
- ・中央道側道、側溝の点検整備改修について

宮下 和昭

- 問** 中心市街地には、空き家の商店、住宅が散在しているが、この状況をどう分析しているか。

- 答** 中心市街地の空き店舗は、H21年度調査では51店舗、理由は後継者不足、廃業、賃貸家賃が高額で借り手がないなどである。
- 問** 当市における老朽化物件取壊し事業補助金は。
- 答** 商店街の環境整備に係る補助金には、「諏訪市商店街環境共同施設整備補助金」があるが、「既存老朽化物件取壊し事業」に係る補助金はない。
- 問** 当市における空き店舗活用事業補助金は。
- 答** 個人に対する創業支援策としては、スワプラザ3階

のチャレンジショップで経験を積む支援を行っており、起業家個人に対する補助金事業は今後の課題。

問 中央道開通 31 年を経過し、市内 6.6 km 間の点検はどのように行われているか。

答 一般市道と同様の扱いで随時の道路パトロールでの巡回・点検を行っている。

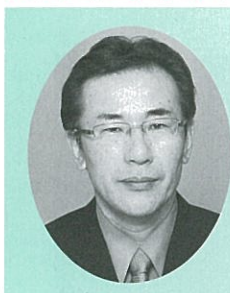
問 雨期を迎えるが、市の対応は。

答 31 年を経過し、施設も老朽化が進み、問題のある個

所も目立つようになってきた。泥上げ草刈り等、地域の皆様のご協力もお願いしたい。雨期を迎えるにあたってパトロールを強化するが、地域の皆様の情報提供をお願いしたい。



点検・整備が急がれる中央道側道



東バル跡地問題と駅前開発について

森山 広

問 東バル跡地の活用ビジョンは。

答 資金計画は見直す。建屋をどうするかは工業メッセを何年続けるかによる。リハビリセンターなら用地提供に市民理解を得られると準備を進めている。広大な土地なので、今すぐどうこうできないが市民の皆さんと将来的な夢を作りたい。建屋南側のリハビリセンター予定地は簿価で買ってもらうか有料で貸付けるか、今後検討していきたい。

問 上諏訪駅の橋上化や改札の東西口連結はどう考えるか。特急あずさが止まらないという噂もあるがどうするのか。

答 JR 東日本には強く要望している。西口改札についてはあくまでも JR がやることで同社の考え方したい。あずさの通過駅には絶対させないと同時に、そんなことはないと確信している。

問 まるみつ跡地について、土地建物の売買は民間の問題と静観するだけでいいのか。3 月中にも交渉がまとまるという話もあるが市で買取はできないのか。スワプラザ及び市民会館も含めての検討は無理か。

答 売却は民間同士で交渉中とのこと。前向きに進んでいると聞く。もしも買い手がつかない場合、さら地を条件に買取を検討していきたい。スワプラザについては床面の地権者であり、市単独では無理。今後、老化・耐震を含め検討していく。



JR 上諏訪駅



1. 上諏訪駅前の今後の方向性 2. 図書館、信州風樹文庫 3. 成年後見制度

有賀 ゆかり

問 まるみつ跡について、どの事業者が購入するにしても市にとって重要な場所。今後の開発への関わりは。

答 行政の限界がある。決まれば話があると思う、応援したい。

問 景観条例などで規制するか、または規制緩和、配慮など考えられるか。

答 計画内容によるが、場合によっては条例の変更・見直しも必要になる。

問 スワプラザは独自路線をいくのか、一体的に考えるのか。市の意思決定が必要な部分が多く、今から検討を。チャレンジプラザ事業は収束を。

答 施設の老朽化、経営も不透明で大きな課題。開発がプラザ含めるとなれば協議。

問 IT 技術で書籍も変化。今後の図書館は。

答 本の大切さは変わらない。電子化への対応も必要。

問 学校司書費用が交付税算入となったが。

答 基準財政需要額算定の基準額は諏訪市の実支出よりはるかに少額。

問 図書館は本館、風樹、学校図書館、ボランティアを含め、読書活動全般のセンター機能。人材の定着を。風樹文庫について岩波書店 100 周年に向けて、また書籍購入の考えは。

答 具体化はこれから岩波と相談して行う。職員 1 名増員。物の寄贈ではなく文化の伝承と考えている。

問 成年後見制度利用の現状、費用補助は。

答 増加傾向。寝たきり、認知症などの状況から需要増の見込み。市長が申立する場合のみ補助。



信州風樹文庫



・東山一帯整備と上諏訪
地区統一について
・使い切り予算からの脱
却について

横山 真

問 東山一帯の森林整備が西山と比べて遅れており、災害が心配だといった声が地元からあるが。

答 西山は奥を除けばかなり間伐が進んできた。東山は小規模な個人林がとても多く、意向集約に時間がかかり、手がかからない状況だが一歩ずつ進めたい。

問 森林台帳整備の取り組みはしているか。

答 森林簿・森林図面の紙ベースで保管しており、伐採届等の提出により更新を行っている。今後はより迅速な対応ができるようデータシステム（GIS）導入を考えている。

問 保安林指定地区の進捗と整備する問題点は。

答 東山は、現在11箇所78.8haが保安林指定。災害防止のため、地元区の意向を聞きながら県とも連携し

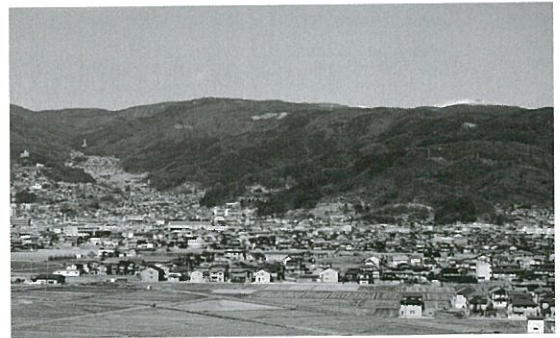
て指定区域の拡大に努めたい。

問 上諏訪の地区組織や公的団体を再編したブロック統一から数年が経つ。その後の問題点はあるか、また、区長連合会を立ち上げて欲しいという提案もあるが。

答 ブロック統一では、地区社協と区の関係がスムーズにいかないケースが多い。区長会組織は市が音頭を取りにくい。自主的にやっていきたいと言うので、どこかの時点で話し合いはしたい。

問 使い切り予算からの脱却に弊害はなかったか。

答 予算の執行率が低いと国から怒られる状態だった。それは止めて大きな事業のために少しずつ貯めていこうという趣旨。



整備が待たれる東山一帯



1.介護保険制度の改訂。
利用者の負担増。
30%値上げの保険料。
2.保育環境の現状

廻本 多都子

問 第5期介護保険事業計画案の中で示された30%アップの保険料になっていますが、なぜこの様な高い上昇率になってしまったのか？

答 1,110円～3,170円の引上げになっています。しかし、高齢者人口増加とサービス利用の増加で値上げせざるを得ない。

問 基金3億5,000万円のうち5,000万円、県からの8,000万円全ては、一号被保険者の保険料です。もっと切崩す、または全額拠出できないのか。

答 県からは8,100万円です。それ以上は無理です。

問 年13,000円の保険料アップは低年金の方には重い負担増になります。各々自治体の一般会計からの繰り入れはどうでしょうか。現に行っている自治体もあります。

答 広域で行っている。もう少し様子を見たい。

問 こなみ保育園、豊田保育園の建て替えが決まっていますが、今後どの様な計画になっていますか？

答 文出、きみいち、洪崎保育園を先に耐震強化。その後、神戸、角間川、角間新田保育園と平成26年までに考えています。しばらくはそのままですが、定員が30名になれば検討。

問 市には2つの私立保育園がありますが、この2つについてはどのように考えるか？

答 ひなどりについては建て替えが計画され、市としても支援をします。



介護施設ふくろうの森

同意第1号

固定資産評価審査委員会委員の選任について、
村上芳明^{よしあき}氏の選任に同意しました。

固定資産評価審査委員会委員とは？ 市長の指揮を受けて固定資産を適正に評価し、市長が行う価格の決定を補助するために設置される委員会委員のことをいう。固定資産の評価に関する知識及び経験を有する者のうちから、議会の同意を得て選任する。

3月定例会の提出案件の審議結果

議案番号	件名	審議の結果
議案第1号	平成24年度諏訪市一般会計予算	可決 (賛成多数)
議案第2号	平成24年度諏訪市国民健康保険特別会計予算	可決 (賛成多数)
議案第3号	平成24年度諏訪市霧ヶ峰リフト事業特別会計予算	可決 (全会一致)
議案第4号	平成24年度諏訪市奨学資金特別会計予算	可決 (全会一致)
議案第5号	平成24年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計予算	可決 (全会一致)
議案第6号	平成24年度諏訪市駐車場事業特別会計予算	可決 (全会一致)
議案第7号	平成24年度諏訪市後期高齢者医療特別会計予算	可決 (賛成多数)
議案第8号	平成24年度諏訪市水道温泉事業会計予算	可決 (全会一致)
議案第9号	平成24年度諏訪市下水道事業会計予算	可決 (全会一致)
議案第10号	公有地の拡大の推進に関する法律施行令第3条第3項ただし書の規定による規模を定める条例を定めるについて	可決 (全会一致)
議案第11号	諏訪市組織条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議案第12号	諏訪市税条例の一部改正について	可決 (賛成多数)
議案第13号	諏訪市公民館条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議案第14号	諏訪市図書館条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議案第15号	諏訪市保育所条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議案第16号	諏訪市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議案第17号	諏訪市公設地方卸売市場条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議案第18号	諏訪市景観条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議案第19号	諏訪市営住宅管理条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議案第20号	諏訪広域連合規約の一部変更について	可決 (全会一致)
議案第21号	市道路線の廃止について	可決 (全会一致)
議案第22号	市道路線の認定について	可決 (全会一致)
議案第23号	平成23年度諏訪市一般会計補正予算 (第6号)	可決 (賛成多数)
議案第24号	平成23年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	可決 (全会一致)
議案第25号	平成23年度諏訪市下水道事業会計補正予算	可決 (全会一致)
選挙第1号	長野県地方税滞納整理機構議会議員選挙について	選挙

市議会3月議会で審議された請願・陳情の結果

請願・陳情番号	請願・陳情内容	提出者	採決結果
陳情第9号	TPPへの参加反対の意見書提出を求める陳情	農民運動長野県連合会 諏訪農民センター 代表 菊池 敏郎	採択 (賛成多数)
陳情第10号	私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書	中信地区私学助成推進協議会 会長 赤羽 勝巳	趣旨採択 (賛成多数)
陳情第11号	国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求める陳情	諏訪地方民主商工会 会長 三沢 和好	採択 (賛成多数)
陳情第12号	年金2.5%削減中止の意見書採択を求める陳情書	全日本年金者組合諏訪支部 執行委員長 今井 進	不採択 (賛成多数)
陳情第13号	最低賃金の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充を求める陳情	諏訪地区労働組合連合会 議長 堀内 哲男	採択 (全会一致)

～市議会解説コーナー～

○予算審査とは？

一会計年度における地方公共団体の収入・支出や、将来にわたり金銭債務を負担する行為等を見積もったものが予算であり、一定の形式により長が作成して議会に提出し、その議決を経ることにより成立します。
諏訪市議会においては、予算審査特別委員会を設置し、下記の日程で審査しました。

3月 7日(水)	企画部、総務部、水道局
3月 8日(木)	教育委員会事務局、建設部、市民部
3月 9日(金)	健康福祉部、経済部・農業委員会事務局、消防庶務課、 行政委員会事務局、会計課、議会事務局
3月12日(月)	討論、採決

議会運営委員会行政視察報告

- ◇日程 平成24年1月24日(火)、25日(水)
- ◇視察場所 愛知県田原市、静岡県牧之原市
- ◇視察内容 議会の情報公開について
(議会基本条例、議会報告会、議会だより等)



諏訪ブロック市議会議員研修会

- ◇平成24年2月6日(月)開催
- 岡谷、茅野、諏訪の3市合同の議会議員研修会を毎年行っています。今年は岡谷市で全国市議会議長会法制参事を招き、「地方議会の現状と課題」について合同研修を行いました。来年は、諏訪市が当番市になります。



議会の傍聴にお出かけください

～6月定例会は
6月4日(月)招集予定です～

詳しい日程については議会事務局までお問い合わせを。(TEL 0266-53-0261)
LCV11チャンネルで、代表質問・一般質問の音声と静止画像による市議会生中継を行っていますのでご覧ください。
また、専用の車いすに座ったまま階段の移動が可能な階段昇降機を導入し、傍聴席も車いすのまま傍聴することが可能なスペースを設けました。ご利用のお申込みやご不明な点がございましたら、諏訪市議会事務局か総務課(52-4141)までお電話ください。

陳情等は、招集日の一週間前までにご提出ください

編集後記

厳しかった冬も終わりを告げ、陽光は強さを増して急速に春めいてきました。
3月は別れの季節、旅立ちの時です。保育園、小学校、中学校と卒園、卒業式に参加しました。式の最後に歌うお別れの歌が流れ始めると子供達は感極まって泣きだし、保護者の涙を誘っていました。純粹さを持ち続けてほしいと願わずにはられません。

3月定例会は予算議会でもあります。東日本大震災と福島原発事故のあと、初めてのものとなりました。市長・市議にとっては、公約の実現、大震災からの教訓を踏まえた新しい政治をめざす立場で臨みました。住民を守り、地域を元気にするために取り組みます。

議会だより編集委員会

委員長 横山 真
副委員長 有賀 ゆかり
委員 宮下 和昭
" 井上 登
" 廻本 多都子

